



競技ルール

----- 【開催方法全般】 -----

▼運営方法

ウッドワンけん玉ワールドカップ廿日市 2022（以下、KWC2022）は、広島県廿日市市に設置するメイン会場にて予選日（＝大会初日）ならびに決勝日（大会 2 日目）からなる本戦競技を行うとともに、予選においてはリモート環境からのオンライン出場も可能とします。

※決勝日に実施するファイナルステージは廿日市会場で実施し、本戦競技の優勝者を決定します

※決勝日に海外からのリモート出場選手によるオンラインエキシビジョン競技を行い、別途表彰します

※大会の様子は 2 日間を通じてオンライン配信（GLOKEN 公式 YouTube）を行います

▼公式トリック（技）

けん玉ワールドカップ 2022 公式トリックページに掲載しているレベル 1～12 の各 10 個（＝計 120 個）、並びに KWC2020 以降使用しているレベル 0.5 の 20 個を公式トリックとし競技を実施します。

公式トリック紹介ページ：

<https://www.gloken.net/jp/blog/202204301158/>

▼出場資格

けん玉愛好者であればだれでも予選出場可能です

※競技ルールを理解していることを前提とします

※予選得点上位者等からファイナルへの進出者を決定します

※小学生以下の参加者は、安全管理及びルール説明補助のため、保護者様の付き添いをお願いします

※リモート参加の場合、提携リモート会場での出場、またはオンライン参加環境があることが必要です

※大会の様子はオンラインにて配信され、各種メディアへの掲載がある場合がございます

▼予選エントリー受付

一般エントリー、初級エントリーがあり、それぞれ使用できるトリックが異なります。

- ① 一般エントリー（トリックレベル 1～10 から使用トリックを選択）
- ② 初級エントリー（トリックレベル 0.5、1、2、から使用トリックを選択）



- ※予選終了後、得点集計フォームに選択トリックと成功・失敗を入力し、申請して頂きます
- ※出場場所に関わらず、フォームでの申請となります。廿日市メイン会場での参加予定者も、スマホ、タブレット等で申請できる準備をお願いします（Wi-Fi 提供はありません）
- ※エントリー種別にかかわらず合計得点により表彰対象者を決定いたします
- ※エントリーに関する詳細は、エントリー要綱をご確認ください

<https://www.gloken.net/jp/kwc/>

----- 【予 選 日 (大会 1 日目)】 -----

▼予選競技

- ・3分間の制限時間内に、ご自身で選択した5つのトリックに挑戦し、これを2回行います。
（2019年以前にあった「バックアップトリック」の設定はありません）
- ・各回、5つのトリックの中で、挑戦する順序は自由とします。
- ・2回目は、1回目を選択した5つのトリックとは異なるトリックから選択してください。
- ・各回、成功したトリックのレベルに応じた点数を獲得できます。
- ・最大得点
一般エントリー：各回50点、2回合計で100点が最大得点となります。
初級エントリー：各回10点、2回合計で20点が最大得点となります。
- ・各回、使えるけん玉は1つのみとします（2回目のチャレンジでは、1回目と異なるけん玉を使用することができます。各回のチャレンジ途中で変更することは不可とします）。

▼ジャッジ方式と得点申請

廿日市メイン会場での出場者

セルフジャッジ（自己申告制）にて予選競技を進行します。

- ・指定するグループ（3人1組を予定）に分かれ、MCの進行に合わせて、順番に予選を実施します
- ・待機中は同じグループの選手が行う競技の記録補助をお願いします
- ・予選終了後、得点集計フォームに選択トリックと成功・失敗を入力し、申請して頂きます

オンラインでの出場者

セルフジャッジ（自己申告制）にて予選競技を進行します。

- ・記録や採点、得点申請についてはご自身で行って頂きます（保護者等の手助けはもちろんOKです）。
- ・指定するZoomリンクへ競技開始時間までに入室してください
（進行上、時間が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください）
- ・開始時間になったら、MCの進行に合わせて予選を実施します



- ・トリック成功失敗の判断、シートへの点数記載はご自身でお願いいたします
- ・予選終了後、得点集計フォームに選択トリックと成功・失敗を入力し、申請して頂きます
- ・Zoom 内では、身体とトリック実施の全景が映り込むよう努めてください
- ・通信環境等の都合で、Zoom 内での参加ができなかった場合も、ご自身で予選を実施し、得点を申請して頂ければ集計ならびに各種表彰対象として扱います

注意事項（廿日市・リモート共通）

- ※参加者全員が正直に、正確に申告することが前提となりますので、ご協力お願いいたします
- ※指定する締切りまでに集計フォームへの回答が無い場合、「記録なし」となりますのでご注意ください
- ※フォーム送信が間違っていた場合、締切りまでに再送信ください（後から届いたものを記録とします）
- ※予選後、ご自身で使用した予選シートはそのまま記念としてお持ち帰りください

▼予選グループ分けについて

- 7月25日（月）までにご連絡いたします。また、大会当日までに SNS 等に登録名にて公表します。
- ※リモート参加者の競技時間は 13 時～14 時の間を予定しています
 - ※廿日市メイン会場での競技時間は 14 時以降を予定しています
 - ※進行上、予定からずれることも起こりえますので、ゆとりを持って臨んで頂けますようお願いいたします
 - ※進行に関しては都度 MC からアナウンスがありますので、オンライン配信をご確認ください

▼リモート参加時の注意点とお願い

- リモート参加の場合、Zoom に表示された名前がオンラインにて配信されます。
- 表示名は、選手番号+登録名（ニックネーム可）として頂きますよう、お願いいたします。
- ※提携リモート会場ならびに団体会場では、会場名の表示となります

----- 【決勝日（大会 2 日目）への進出者について】 -----

▼本戦競技・ファイナル進出者（廿日市メイン会場での出場可能選手が対象）

1. シード枠：KWC 歴代優勝者、並びに、以下指定する大会の直近優勝者
 - ・けん玉力測定会 上位者トーナメント
 - ・China Kendama Open オープン部門
 - ・Battle At The Border オープン部門
 - ・Europe Kendama Championship オープン部門



2. 当日予選通過者枠：シード選手を除き、上位 25 位タイまで
3. 特別枠（ワイルドカード）：国と地域枠 3 名、大陸枠 2 名、ジェンダー枠 2 名、年代別枠 2 名を最大として選出する

※予選得点が同点時、決勝得点の算出方法で順位を決定します（それでも同点の場合にタイとします）
※シード選手、特別枠が最大人数に満たない場合で、かつ、ファイナル進出者合計が 40 名未満となった場合には、進出者合計が 40 名となるよう、当日予選通過者枠に振り替えます。但し、年代別枠については、会場にいる次点選手を繰り上げる事とします

▼エキシビション競技・ファイナル進出者（海外からのリモート出場選手が対象）

1. シード枠：過去 KWC 優勝者、並びに、指定する大会の成績優秀者
 2. 当日予選通過者枠：シード選手を除き、上位 5 位タイまで
 3. 特別枠（ワイルドカード）：国と地域枠 2 名、大陸枠 1 名、ジェンダー枠 1 名を最大として選出する
- ※シード選手、特別枠が最大人数に満たない場合で、かつ、進出者合計が 10 名未満となった場合には、進出者合計が 10 名となるよう、当日予選通過者枠に振り替えます

▼特別枠（ワイルドカード）の選考について

廿日市での本戦競技、海外在住選手によるオンラインエキシビション競技のファイナル進出者を決める際、以下の該当者を特別枠として扱います。

国と地域枠

ファイナル進出者を輩出できなかった国・地域を対象に、各国・地域から 1 名ずつ選出し、成績上位者を特別枠とします。人数は別途規定します。

大陸枠

国と地域枠を含めても決勝進出者を輩出できなかった大陸を対象に、各大陸から 1 名ずつ選出し、成績上位者を特別枠とします。人数は別途規定します。

大陸区分は、以下とします。

欧州、アフリカ、アジア、北米、中南米カリブ海、オセアニア

ジェンダー枠

男女別でカウントし、当日予選通過者の中で少数となった性別の選手数が通過者数の 20%を上回らない



場合、少数となった選手で決勝進出者以外の中から成績最上位者を特別枠とします。人数は別途規定します。

年代別枠

シード枠、国と地域枠、大陸枠、ジェンダー枠をすべて含めてもファイナル進出枠を確保できなかった各年代の最上位者を対象に、成績上位者を特別枠とします。人数は別途規定します。

※年代別の分け方は、年代別表彰と同じとします。

※各特別枠に関する必要得点は以下とします。

特別枠からのセミファイナル以降への進出得点要件は以下とします。

- ・国と地域枠、ジェンダー枠：予選得点が40P以上とします
- ・大陸枠、年代別枠：予選得点は問わない

-----【決 勝 日 (2 日 目) について】-----

▼ファイナル競技概要（本戦競技、オンラインエキシビジョン競技）

本戦競技

- ・ファイナル競技は1名ずつ実施します
- ・競技方式は無制限フルマークラダー方式（10トリック以上）とします
- ・競技時間は3分間で、使用トリックは、レベル3～12とします

オンラインエキシビジョン競技

- ・ファイナル競技は1名ずつ実施します
- ・競技方式は10トリックフルマークラダー方式とします
- ・競技時間は3分間で、使用トリックは、レベル3～12とします

※最終順位は、予選競技得点とファイナル競技得点の合算をもって決定します

※それぞれのファイナル進出者人数は別途規定します

※出走順は、申請トリックのフルマーク時における最終得点順とします（低→高）

▼フルマークラダー方式について

【基本ルール】

- ・参加者自身で選択したトリックに順番に挑戦し、フルマーク（全部成功）を目指します



※参加者はあらかじめ挑戦するトリックと順番を選択し、指定時間までに申請します
※ラダーとは順番に挑戦する方式を意味し、申請後の順番変更はできません

【得点とボーナス得点】

- ・成功したトリックのレベルを二乗した数を得点とし、合計得点を算出します
- ・1つのトリックにつき、加点は1回とします
- ・レベル11、12トリックはボーナス得点としてそれぞれ30点、50点が加算されます

(成功時の得点)

レベル10→100点、レベル9→81点、レベル8→64点、以下同様

レベル11→121点(11の2乗)+ボーナス30点=151点

レベル12→144点(12の2乗)+ボーナス50点=194点

- ・フルマークした場合には、ボーナス得点として選択した全トリックのレベル数の和が加算されます。

(例)

選択トリックレベルが、3、5、7、8、8、7、9、6、10、11、とすると、

フルマーク時にはレベル数の総和である「74点」が加算されます

【スキップ】

- ・フルマークラダーへの挑戦中、指定トリックを飛ばすこと(=スキップ)を可能とします
 - ※スキップを使う場合は、意思表示をしてください(「スキップ」と叫ぶなど)
 - ※スキップしたトリックの得点は加算されません(減点はありません)
 - ※間違っただけでトリックを飛ばした場合もスキップ扱いとなりますが、途中で気づき飛ばしたトリックから改めて順番に再挑戦することは可能です
 - ※トリックを残し時間切れとなった場合、残りのトリックはスキップ適用とします(オートスキップ)

▼ファイナル競技得点の算出例

最終順位は、予選競技得点とファイナル競技得点の合算をもって決定しますが、ファイナル競技の得点算出方法は以下の例の通りとなります。

(例) 申請したトリックレベルの順が、3⇒5⇒8⇒6⇒7⇒6⇒9⇒10⇒11⇒12 とする

- A. 3⇒5⇒8⇒6⇒7⇒6⇒9⇒10⇒11⇒12 と、申請したトリック全て成功させた場合、
ファイナル競技得点は、

$$9+25+64+36+49+36+81+100+121+144$$

+



ボーナス加点

- ・レベル 11 ボーナス得点：30 点
- ・レベル 12 ボーナス得点：50 点
- ・フルマークボーナス得点（レベル数の和）：77 点

= 822 点となります

B. 3⇒5⇒8（スキップ）⇒6⇒7⇒6⇒9⇒10⇒11⇒12（時間切れ） の場合、
ファイナル競技得点は、

9+25+0（加算なし）+36+49+36+81+100+121+0（加算なし）

+

ボーナス加点

- ・レベル 11 ボーナス得点：30 点
- ・フルマークボーナス得点：無し

=487 点となります

▼ブザービート（制限時間まぎわのトリック実施）について

ファイナル競技では、ブザービートの扱いを以下とします。

・制限時間終了直前に開始したトリックの継続中に終了ブザーが鳴った場合、そのトリックについては継続を認め、成功した場合には得点加算対象とします。失敗した場合にはその時点で終了となります

-----【表彰について】-----

▼決勝最終順位上位者

本戦競技、オンラインエキシビジョン競技それぞれの上位入賞者を表彰します。

優勝者には賞金・賞品が贈呈されます。

※賞金規定は別途発表します

男女別に分け、優勝者と異なる性別選手のファイナル結果から最優秀選手を決定し、別途表彰します。
本選競技、オンラインエキシビジョン競技それぞれで同様に決定します。



▼年代別得点上位者表彰

下記、年代別の成績優秀者を決定し表彰します（1～3位）。

- ・3歳以下の部
- ・4歳の部
- ・5歳の部
- ・6歳の部
- ・7～9歳の部
- ・10～12歳の部（総合ならびに男女別）
- ・13～15歳の部（総合ならびに男女別）
- ・16～19歳の部（総合ならびに男女別）
- ・20代の部（総合ならびに男女別）
- ・30代の部（総合ならびに男女別）
- ・40代の部（総合ならびに男女別）
- ・50代の部（総合ならびに男女別）
- ・60代の部（総合ならびに男女別）
- ・70代の部（総合ならびに男女別）
- ・80代の部（総合ならびに男女別）
- ・以降、出場者の年代に合わせて部門を設置

※初級エントリー、一般エントリーの括りなく、合計得点にて表彰対象者を決定します

※予選およびファイナルで獲得した合計得点を元に年代別表彰者を決定します

（例）

20代の部に属するAさん、Bさんがファイナル進出し、

Aさん：予選98点、ファイナル685点→合計得点783点

Bさん：予選91点、ファイナル777点→合計得点868点

となった場合、Bさんが年代別1位となります。

※年齢は7月31日時点での満年齢を使用します

※10歳以降の各部は、男女別での集計も実施します

※総合順位と男女別順位が同一の場合は、男女別表彰状の発行は行いません

（例）30歳台総合1位＝男性部門1位の場合、男性部門としての表彰は行わないこととします

▼フルマーク賞

予選で、選択した10個のトリックをすべて成功させた方を対象とします。



▼「ケンミンけん玉力」ランキング発表

都道府県別の予選合計得点と人口から、「ケンミンけん玉力」を算出しランキング発表します。

(例)

長野県から参加者の総得点が341点（初級エントリー、一般エントリーの全参加者得点の合計）

長野県の人口 2,063（千人）

ケンミンけん玉力=341÷2.063=165 とします（小数点以下四捨五入）

※初級エントリー、一般エントリー別は問わず、全参加者の予選得点を合計します。

※人口は総務省統計局の人口推計（千人単位）を使用します。

※郵送物が届くことを前提としたエントリー登録時の住所を元に算出します。

※参加者がある全都道府県のランキングを発表いたします。

▼賞状の発行に関して

決勝上位者、年代別得点上位者、フルマーク

廿日市での出場者：表彰対象者には賞状をお渡しします

オンライン出場者：表彰対象者には後日メールにて電子版賞状をお送りします

ケンミンけん玉力

表彰対象者には後日メールにて電子版賞状をお送りします

----- 【使用けん玉について】 -----

- ・使用けん玉の最大寸法は以下とします。

けんの高さ：170mm

皿胴の幅：75mm

玉の穴の直径：23.5mm（10円玉のサイズです）

- ・「玉」の穴は1つとします（糸穴を除く）。
- ・けん玉の皿は、3つとします。
- ・けん玉に取り外し可能なアタッチメント（付属物）の使用は認められません。
- ・けん玉への磁石及び磁性塗料の使用は禁止とします。



- ※予選参加時並びにリモート参加時には、ご自身で使用けん玉のチェックをお願いします
- ※本選競技ファイナルでは、チェックボックスを使用し、審判が確認します
- ※けん玉のメンテナンスに留意し、競技中に糸が切れたり使用不可の状態にならぬようご注意ください
競技途中でのけん玉の変更は認められません

----- 【トリックに関する注意事項について】 -----

※予選時は自己申告制となりますので、正直な申告をお願いいたします

※リモート参加時には可能な限りトリックが画面内に映るように努めてください

・トリック挑戦中に、指のポジションを動かすことや、糸を外す動作は、身体の他の部位（もう片方の手など）を使わない限り自由です。もう片方の手等を使った場合は「失敗」となりますので、新たにやり直してください

※両手指定のトリックの場合はこの限りではありません

・特に指定がない場合、回転数に制限はありません

・特に指定がない場合、回転の方向に制限はありません

・玉が皿に乗ったあと、穴の位置を修正する動きは認められません（手首のひねり等は問題ありません）

・静止技については、静止状態のみで成功か失敗かを判断をする技はありませんので、各自のやりやすいタイミングで次の動作へ進むようにしてください

・静止技の途中で、けんや玉が手や衣服に触れた場合には動作を中止し、新たにやり直してください

※廿日市での本選競技ファイナルでは、ビデオ判定時に、手や衣服に触れていることが判った場合、そのトリックは「失敗」と判断し、なおかつ決勝得点から200点を減点します。ビデオ判定は3分間の競技終了後、審判がその必要性を判断した場合に実施します。ビデオ判定の結果、競技終了時点に表示された得点から変更となる可能性があります

・フロアを使うトリックでは取り外し可能なマット等の敷物を使用することは認められません
出場場所のフロア状態のままトリックに挑戦してください



----- 【 Zoom について 】 -----

リモート参加者がオンラインで出場するため Zoom を使用します。

Zoom とは、簡単に言えば、複数人での同時参加が可能な「ビデオ・Web 会議アプリケーション」です。

リモート環境からの参加者は、競技までにご案内する Zoom 参加リンクをクリックすることで、必要に応じて自動でダウンロードができます。もしくは公式サイトからダウンロードをお願いいたします。

https://Zoom.us/download#client_4meeting

※スマホからでも、PC からでもご参加頂けます。

※PC の場合は、カメラとマイクが必要です（ノート型であれば内蔵されていることが多い）

※インターネット接続環境が必要です。通信料がかかりますので、スマホの場合は wifi 環境からのご参加を推奨します。

※同じ空間で Zoom 参加と YouTube 視聴をする場合、YouTube 音声を OFF にしてください。